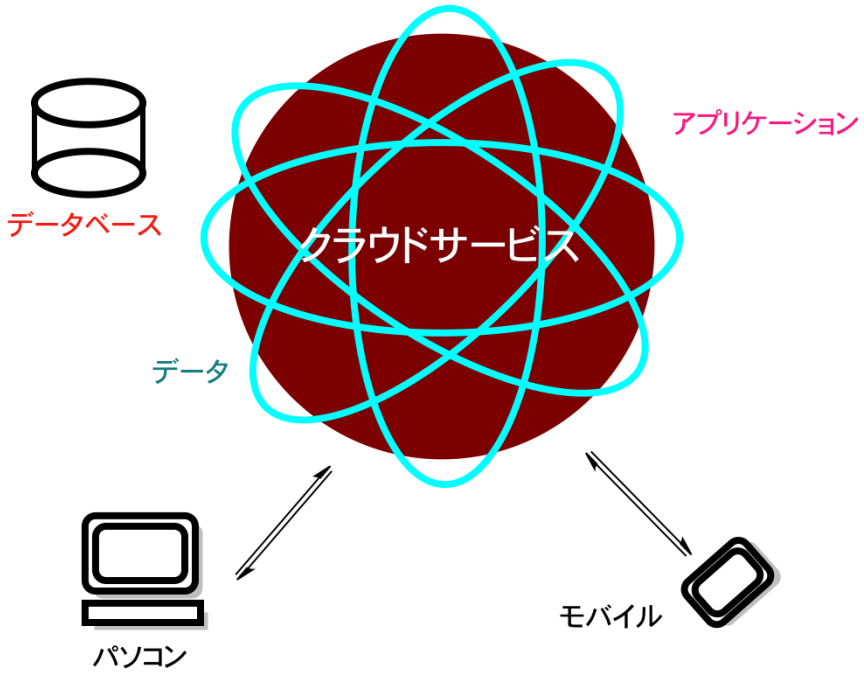
原稿をGoogleドキュメントで書く

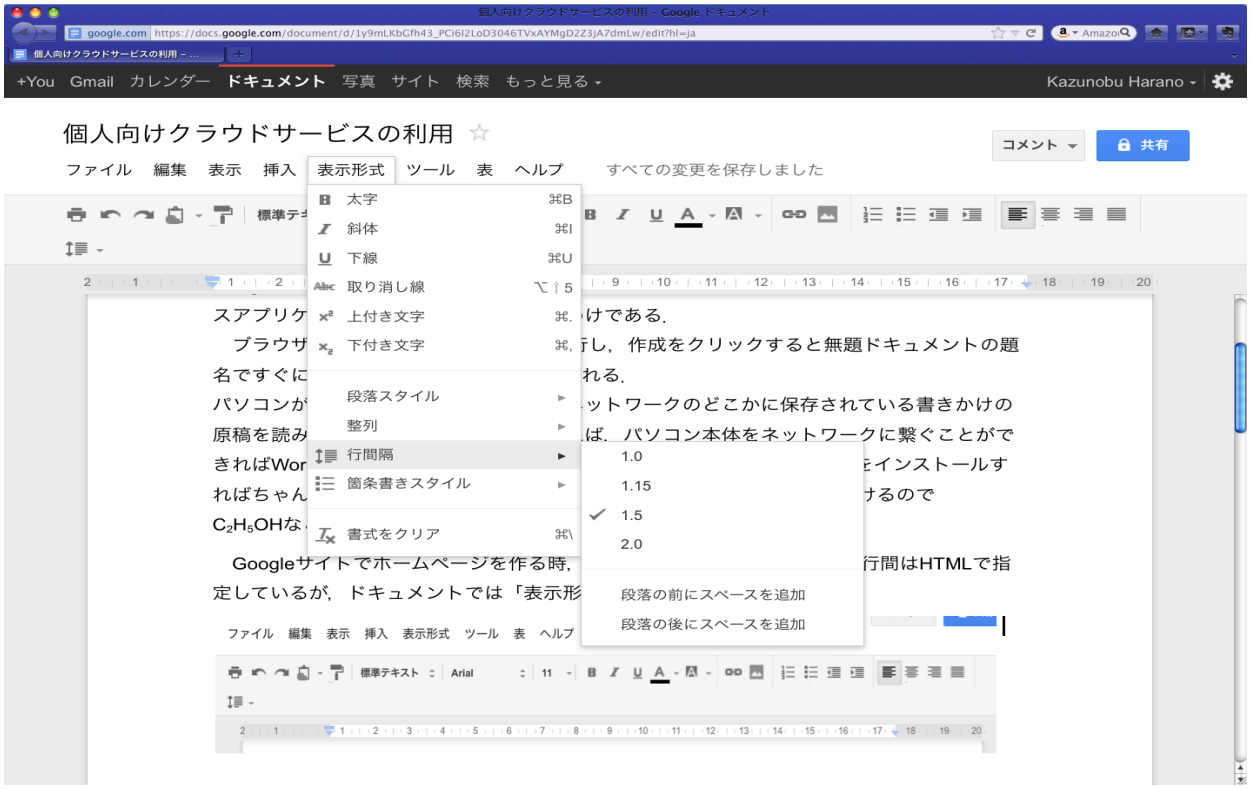
普通は，原稿をワープロで書きハードディスクやUSB等の記録メディアに保存しているが，Googleドキュメントを利用して書いてみた．個人向けクラウドサービスを使用しオフィスアプリケーションを利用しようというわけである．



極端にいえば，パソコン本体をネットワークに繋ぐことができればWordやExcelなどの高価？なアプリケーションがなくてもブラウザをインストールすればちゃんとした文章が書けるはずである．そこでこのブログを書くのに試用してみた．

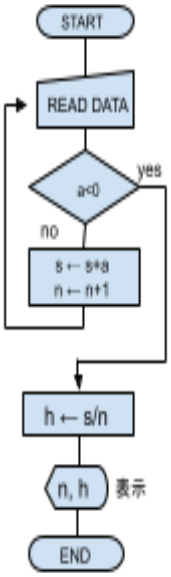
ブラウザでGoogleのドキュメントに移行し，作成をクリックすると無題ドキュメントの題名ですぐにワープロと同様の入力画面が現れる．

Googleサイトでホームページを作る時，行間隔調整のボタンがないため行間はHTMLモードにして，<p style="line-height:1.5">を文頭に付加する必要があるが，ドキュメントでは「表示形式」の中で行間を選択できるようになっている．上付き文字，下付き文字も書けるのでC_2H_5OHなどの化学式やx^2の記述も可能である．挿入モードでは，$\alpha \pm \beta \simeq \sqrt{x+y}$などの計算式も書くことができる．図のモジュールもいろいろ用意されているのでフローチャート（描画例参照）なども書くことができる．





私はパソコンの日本語入力もMac OSに付いている「ことえり」と「Googleが提供しているもの」を切り替えて利用しているが不自由はない．パソコンがあればどこに居ても地球上のネットワークのどこかに保存されている書きかけの原稿を読み出し編集ができる．普通は書斎のパソコンで仕事をしていたが，夫婦別々の部屋でエアコンを使うことは節電に反するので，居間のパソコンを使うことが多くなった．そのような場合，クラウドサービスを利用すると非常に便利である．パソコン同士をLANで繋ぐ必要もないし，USB記憶媒体を持ち歩く必要もない．



Googleはデータセンターの電力を低減するため記録媒体として，ハードディスクの代わりにSSDを採用することを決めたそうである．膨大な個人の貴重なデータをクラウドのみに保存することもあるので，データが想定外の原因で消失することのないようにバックアップシステムは分散されていると思うが，さらに万全のセキュリティが確保されることを望む次第である．

参考資料

WordやExcelはもういらない？*Google*ドキュメントで書類データの ...